

気仙沼普及センターだより

宮城県気仙沼農業改良普及センター

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

TEL : 0226-25-8068 FAX : 0226-22-1606

Vol: 149

令和3年11月25日発行

ひとつずつ 明日と未来の ふるさとへ!

県内初! 枝もの用クロマツの出荷に向けて収穫が始まりました!



「園芸振興の取組について」

総括次長 佐々木 圭 悦

新型コロナウイルスによる農業分野への影響は続いており、特に米価の概算金の下落による影響が農家経済に大きな影響を及ぼしています。当所では、「米価下落に伴う営農相談窓口」を設置し、「各種支援策」や「つなぎ資金」の紹介、所得確保に向けた栽培品目選定、低コスト技術の導入等、営農継続に向けた相談に対応いたしますので、お気軽に御相談ください。

当管内では、今年度から「第三期みやぎ食と農の県民条例基本計画」や「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」等に基づき、地域資源を生かした高付加価値型農業や立地条件を生かした多様な農業の実践を支援するとともに、引き続き震災からの復興に向けて、関係機関とともに重点的な取組を行っています。

特に、園芸振興への取組については、震災後の新たな品目として、復旧農地での法人等における大規模なねぎ栽培や複合環境制御装置を備えた園芸施設によるいちご栽培による産地育成等に取り組みしており、地域の主力園芸品目として定着させているところです。

さらに、新たな品目として枝もの用クロマツの栽培技術及び産地育成支援の取組を始めました。枝もの用クロマツは、正月飾り等に利用されており、縁起物として根強い需要がある品目です。この栽培を行っている法人を対象に補助事業等を活用しながら生産技術の向上と流通形態の確立を図るとともに、新たな生産者の拡大等に取り組みまいります。

新しく農業士になった方の紹介



吉田 和広さん
(指導農業士、気仙沼市)

吉田和広さんは、気仙沼市関根地区で水稲+繁殖牛経営を行っています。地域に40歳代の農業者は少なく、水稲の作業受託も多く行っており、地域の重要な担い手となっています。また、農業機械の整備等得意分野を活かし、条件不利地でも作業性の向上やコスト低減につなげる農業を行っています。

4Hクラブ活動やJA青年部でも活躍し、平成21年度の第49回全国青年農業者会議では、東北代表として発表しています。また、地元小学校では、児童に植え付けから収穫・販売まで幅広く体験してもらおう場を提供し、農業への理解が育まれるような活動をしています。

★吉田さんから一言★

この度、指導農業士に推薦していただきました。地元の小学校でさつまいも栽培を子供達に教えたりして、農業の理解者・サポーターが少しでも増えれば良いなと活動しています。よろしくお願いします。



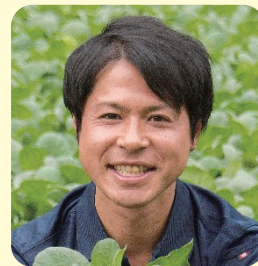
大沼 あかねさん
(指導農業士、南三陸町)

大沼あかねさんは、平成16年からクレープの製造販売を始め、平成25年にご夫婦で自然卵農園株式会社を設立しました。自然卵農園では、自家配合した餌などを飼料にする自然養鶏と呼ばれる養鶏法で自然卵「卵皇（らおう）」を生産し、生産したほとんどの卵はクレープやプリンなどの加工品の製造に使用しています。加工品はさんさん商店街や道の駅等で販売しているほか、移動販売車によるクレープの製造販売を行っています。

令和2年には、仙台市五橋にクレープやオムライスなどを提供する店舗「自然卵のクレープ」をオープンするなど、地域の6次産業化を牽引する法人として期待されています。

★大沼さんから一言★

卵の生産から加工・販売を始めて8年が経ちました。年々若者が小規模の6次産業化に興味を持って会いに来てくれることが多くなりました。若者の農業への関心が高まっているのを感じています。失敗も笑えるような明るい心で一緒に成長していきたいです。



星 達哉さん
(青年農業士、南三陸町)

星達哉さんは、東日本大震災の前にきく生産で就農しましたが、震災後は地元住民の雇用の場となるよう周年で作業できるこまつな生産に転向しました。

こまつなは、パイプハウス60棟で計2ha、さらに露地畑6haで生産を行っており、県内でも有数の栽培規模になっています。栽培では、カキ殻や海藻など町内から得られる資源を活用した土づくりや農業を低減した病虫害防除に取り組んでいます。

また、震災後に仕事の減った当地域で、地元住民15人ほどの雇用を周年で生み出しています。

星さんは南三陸町戸倉地区で農地復旧整備事業が行われた2地区における中心的農家となっており、地域農業の担い手として大いに期待されています。

★星さんから一言★

震災からの瞬く間の10年。復旧していただいた農地で農作物を生産し、緑豊かな南三陸の景観を継続していくためにも、地元また関係機関の皆様からご協力ご指導いただきながら農作業に励んで参ります。



大沼ほのかさん (南三陸町)

東北農村青年会議 東北大会最優秀賞受賞

東北地域の農業青年が農業経営や農村生活で得た知識や技術、活動成果等を発表する第51回東北農村青年会議が令和3年9月2日に開催されました。発表はオンライン形式で行われ、東北各県の選りすぐられた発表の中、気仙沼地区4Hクラブ連絡協議会に所属する大沼ほのかさんが、意見発表の部で見事、最優秀賞を受賞しました。

大沼さんは、東日本大震災で大きな被害を受けた南三陸町の出身者ですが、地元で就農を決意した思いや、師匠と慕う農家と農作業で汗を流したり、お昼を一緒に食べながら農家生活の良さを感じたりしたこと、将来は訪れた人が自分の家に帰ってきたと思えるような農園カフェを開きたいこと等について発表し、夢に向かって真摯に行動する姿が高く評価されました。

大沼さんは、今後、全国青年農業者会議に出場予定です。

管内で活躍する農業法人を紹介します

● 株式会社南三陸Pine Pro (パインプロ) ●

設立 平成30年4月
代表取締役 後藤 敏 さん

概要 南三陸町できく栽培を行っていた後藤代表が、きくの取引先であった大阪府の花き卸会社である株式会社なにわ花いちば（大阪鶴見花き地方卸売市場）とともに、南三陸町内での枝もの用クロマツ（以下、若松）の栽培を検討し、日本最大の産地である茨城県と東北で最も生産量が多い秋田県の生産者の支援を受けて会社を設立しました。社名には町内でのマツ（英語でPine）の産地化をプロデュース（Pro：Produceの略）したいという思いが込められています。

平成30年に栽培を開始してから年々作付面積を増やし、現在では2.4haまで拡大しています。若松の本格出荷を目指した取組は県内初の試みで、栽培4年目となる今年が初出荷となります。



※枝もの用クロマツ【若松】とは

お正月の門松やアレンジメント等に利用される縁起物として欠かせない花材であり、定植から3～4年かけて栽培したものが収穫、出荷されます。主要産地は茨城県、兵庫県などです。

代表より一言

いよいよ初出荷を迎えます。若松の収穫風景を南三陸町、そして宮城県の風物詩にできたらうれしいです。

「金のいぶき」が管内で初収穫されました



本年度から気仙沼管内で栽培実証を開始した水稻品種「金のいぶき」の初収穫が行われました。

「金のいぶき」はお米の品種の中でも珍しい玄米食専用品種です。胚芽が「ひとめぼれ」などの玄米と比較して大きく、プチプチとした食感や食味の良さ、GABAやビタミンEなどの栄養成分を豊富に含むこと、低アミロース米のため、白米と同じ水加減・時間で炊けるという特長があります。

現在は需要に対して栽培が少なく、なかなか手に入りづらいお米です。一方、施肥や病害虫の防除などきめ細やかな栽培管理が必要な品種であり、これまで作付経験がない当管内で安定した栽培を行うには、地域の条件にあった方法を検討する必要があります。広く皆様に味わっていただけるよう、当普及センターでは管内での栽培拡大を目指し、今後も栽培実証を継続していきます。

現地検討会も開催予定ですので、興味のある農家の皆様は是非お問い合わせください。



収穫直前の「金のいぶき」試験栽培ほ場

南三陸町で初のせり栽培検討会が開催されました

せり栽培検討会の様子



9月28日、J A 新みやぎ南三陸地区本部主催の栽培検討会が、南三陸町でせりを栽培している株式会社グランドカンパニのせり田を会場に開催されました。

栽培検討では、石巻青果の担当者が講師となり、今年から栽培を始める生産者や興味のある農業者に向けて、せり栽培の基本や出荷形態について解説され、「豊かな水源に恵まれ若手の生産者が多いこの地域は産地としての可能性を感じる」との感想をいただきました。

J Aからはせりに登録のある農薬の紹介があり、特に除草剤は登録が少ないので、早めの除草を徹底するよう呼びかけがありました。

普及センターからはせりの主な病害虫と対策、県農業・園芸総合研究所で過去に取り組んだ緩効性肥料を用いた追肥省力化栽培について説明しました。

葉せりと根せりの違いや植付け初期の管理などについて活発な情報交換が行われ、今後のせり栽培の普及に有意義な検討会となりました。この栽培検討会が産地形成への第一歩となるように、普及センターでは関係機関と連携し、引き続き支援を行っていきます。

農林産物品評会及び花き品評会で各賞受賞！

令和3年10月23日(土)～24日(日)に宮城県農林産物品評会及び花き品評会が開催されました。気仙沼管内からは、農産物及び花きが合計18点が出品され、審査の結果、下記の5点が入賞を果たしました。

農林産物品評会 野菜(葉茎菜類)部門



宮城県知事賞2等
宮城県園芸協会会長理事賞
南三陸町 佐藤 徳郎 さん
(ほうれんそう)



宮城県知事賞3等
南三陸町 星 達哉 さん
(こまつな)

花き品評会



金賞
全国農業協同組合連合会
宮城県本部長賞
南三陸町 及川 誠司 さん
(輪ぎく)



銀賞
南三陸町 遠藤 吉司 さん
(輪ぎく)



銀賞
気仙沼市
(有)気仙沼園芸
(シクラメン)

受賞された皆様
大変おめでとう
ございます!

● 農地中間管理事業について ●

農地中間管理事業
(農地集積バンク)
を活用しましょう!

- 規模を拡大し、又は利用権を交換して分散した農地をまとめた
 - 農業をリタイアする、又は規模を縮小するので農地を貸したい
 - 農地を借りて新規就農したい
- ⇒地域の担い手へ重点的に農地集積

地域農業を将来にわたって守るため、
一丸となって取り組みましょう!

お問い合わせ先

- 宮城県気仙沼地方振興事務所 農業振興部
TEL 0226-24-2534 FAX 0226-22-1606
- 市町農政担当課または農業委員会

● 米価下落に伴う相談窓口について ●

令和3年産米の概算金下落に伴う「各種支援策」や「つなぎ資金」の紹介、所得確保に向けた栽培品目選定、低コスト技術の導入等、営農継続に向けた相談に対応いたします。

- 受付時間 8:30～17:15 (土日祝日を除く)
- 電話番号 0226-24-2534 (気仙沼地方振興事務所農業振興部農業振興班)

リスクへの備えはできていますか? 収入保険に加入しましょう!